

平成24年度 予算

一般会計 116億770万円



築上北高跡地完成イメージ図

平成24年度の豊前市予算は「施政方針」(2～4ページ)で紹介しました事業の推進をめざしています。

今後の国の動向、社会情勢等に注意し、厳しい財政事情の中、これまで以上に効率的な運営や経費の節減を考えていきます。

平成24年度の予算額は、一般会計が116億770万円で対前年度比0.4%減、特別会計等を含む総額では、176億8,323万円で同0.1%減となっています。

全会計予算額

(単位:万円、%)

区 分		24年度	23年度	増 減	伸率	
一 般 会 計		116億0,770	116億4,960	△4,190	△0.4	
特別会計	国民健康保険事業	38億3,183	38億1,420	1,763	0.5	
	後期高齢者医療事業	4億3,626	4億2,192	1,434	3.4	
	住宅新築資金等貸付事業	291	400	△108	△27.1	
	市営駐車場事業	730	680	50	7.4	
	バス事業	3,521	3,686	△164	△4.5	
	工業用地造成事業	2,663	2,068	595	28.8	
企業会計	水道事業	7億1,383	7億2,301	△918	△1.3	
	東部地区工業用水道事業	2,272	2,333	△60	△2.6	
	下水道事業	公共下水道事業	9億5,150	9億5,846	△696	△0.7
		農業集落排水施設事業	4,734	4,960	△226	△4.6
総 額		176億8,323	177億0,843	△2,520	△0.1	

一般会計予算の概要

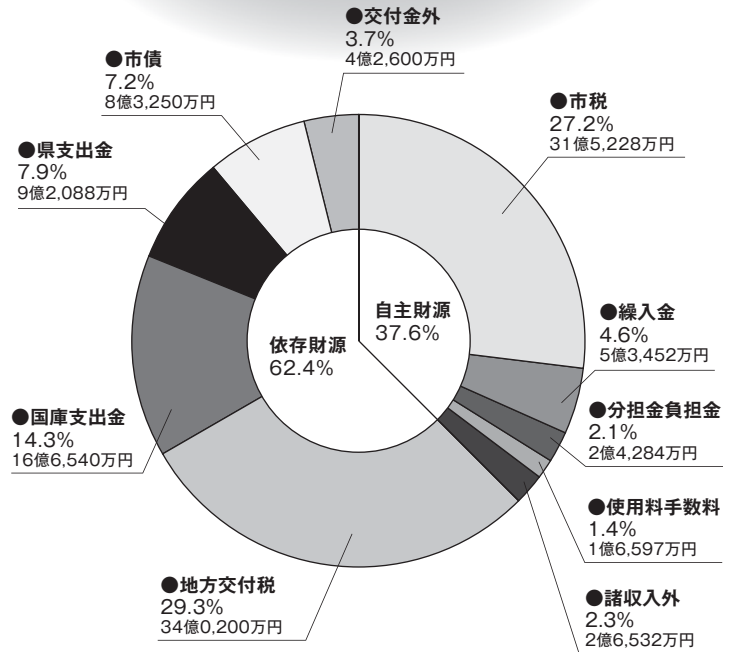
歳入 市税については市民税が年少扶養控除の廃止等により4,046万円の増、固定資産税が評価替等により985万円の増、市町村たばこ税が2,400万円の増、全体では対前年度比1.7%(5,561万円)の増収を見込んでいます。地方交付税については特別交付税の減収見込み等により1.3%(4,600万円)の減となりました。国庫支出金については子ども手当負担金の減、道整備交付金の減等のため0.7%(1,233万円)の減となっています。また、市債は総額で0.7%(610万円)の減となりました。

歳出 義務的経費については人件費が5.5%(1億0,463万円)の減、扶助費が障害者福祉費、並びに生活保護費の増のため1.5%(4,287万円)の増、公債費が1.5%(2,127万円)の減となりました。投資的経費については、宇島駅自由通路等整備事業の増、職業訓練センター改修工事の増等により、6.9%(8,207万円)の増となりました。

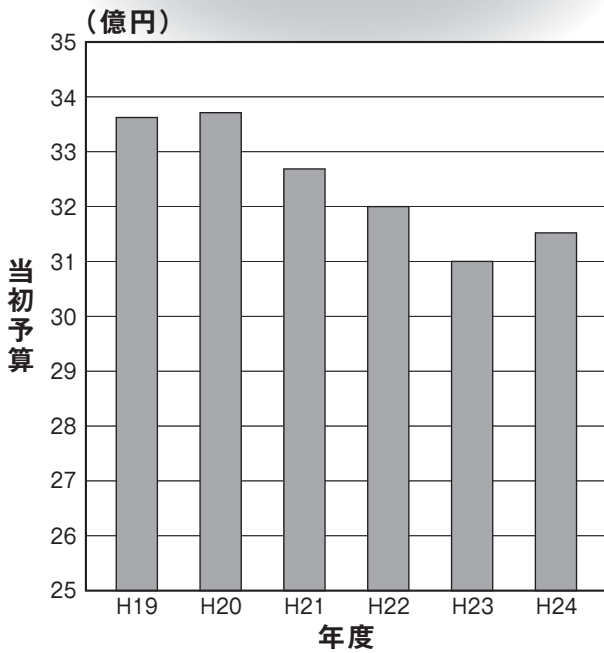
市税31億5,228万円

[市税の内訳]	[単位:万円]	[伸率%]
市 民 税	12億6,946	3.2
固 定 資 産 税	16億4,933	△0.5
軽 自 動 車 税	6,550	1.5
市町村たばこ税	1億6,800	16.6

歳入予算の内訳



市税の推移



予算用語解説

◎歳入と歳出

これは一般家庭の収入と支出にあたるもので次のような性質や目的に分類されます。

◎自主財源と依存財源

歳入(収入)でよく使われるのが「自主財源」と「依存財源」です。自主財源は、市税のように市が自主的に調達できる財源です。

自主財源の比率が大きいほど行政の自主性が確保されます。

一方、依存財源は、国や県の意思により定められた額を交付されたり割り当てられたりする財源です。

◎性質別分類と目的別分類

歳出(支出)の見方として、予算を使った性質ごとに分類した性質別分類と使う目的ごとに分類した目的別分類の二つがあります。

性質別分類は、市の財政運営や経済的機能状況を知ることができ、目的別分類は、どのような事業にいくら使うかを知ることができます。

歳出予算の内訳

性質別歳出分類

義務的経費 (52.4%)			投資的経費 (11.0%)	その他の経費 (36.6%)		
扶助費 29億0,481万円 (25.0%) 生活保護者、児童、高齢者、障害者の方を援助するために使います。	人件費 17億9,443万円 (15.5%) 市長、市職員等の給与退職金、議員・各種委員の報酬などに使います。	公債費 13億8,679万円 (11.9%) 市債(借入金)の元利償還金、一時借入金の利子に使います。	普通建設事業費等 12億7,558万円 (11.0%) 道路、公園、学校など、将来に残る施設を建設するために使います。	補助費等 15億7,965万円 (13.6%) 一部事務組合負担金や各種団体への補助金などに使います。	物件費 13億0,499万円 (11.2%) 電算の委託料や光熱水費等に使います。	繰出金 11億8,661万円 (10.2%) 国民健康保険事業会計等の他会計を補助するために使います。

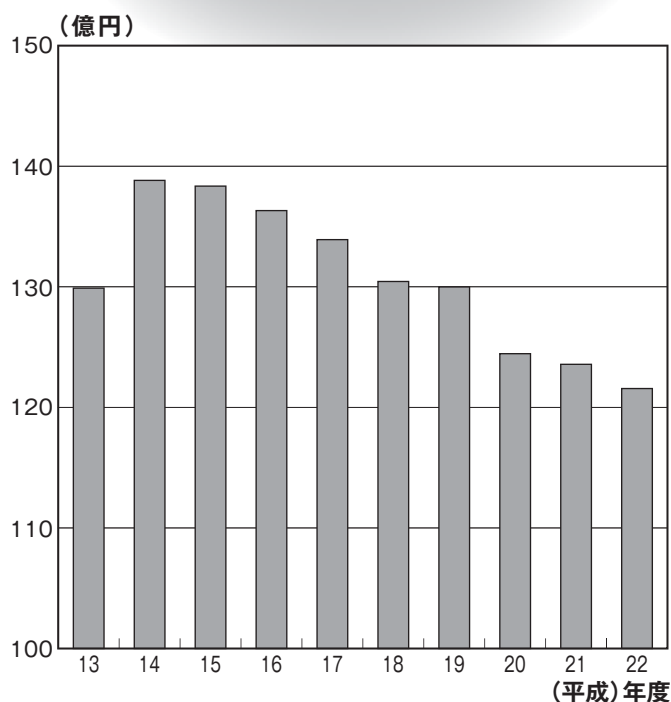
目的別歳出分類

投資出資及び貸付金、維持補修費、積立金など
1億7,485万円 (1.5%)

民生費 45億9,588万円 (39.6%) 高齢者、障害者、児童、生活保護者の方の社会福祉事業のために使います。	公債費 13億8,679万円 (11.9%) 市債(借入金)の元利償還金、一時借入金の利子に使います。	土木費 12億7,786万円 (11.0%) 道路、橋、公園、市営住宅などの維持管理、整備のために使います。	総務費 10億3,189万円 (8.9%) 市役所の一般的な事務経費や選挙などに使います。	衛生費 9億2,430万円 (8.0%) ごみ、し尿処理、保健衛生などに使います。	教育費 8億9,894万円 (7.7%) 小・中学校などの維持管理等に使います。	議会費、労働費、商工費、消防費、災害復旧費など 9億4,423万円 (8.1%)
---	---	--	---	---	--	---

農林水産業費
5億4,783万円 (4.7%)

市債残高の推移



市債は道路等長期にわたって利用するものに対して、その経費にあてるため政府などから借り入れる長期借入金のことです。一般家庭という借金に当たるものです。

この借金が多くなると返済にかかる費用が長期にわたって市の財政を圧迫することになるため、市では新たな借入額を過去の借入金の償還額より少なくすることで将来的な負担を抑制しています。

今後も適正な管理を行いながら、市債残高を確実に減らしていきます。

